

ヤマハ株式会社  
2013年3月期  
第2四半期決算説明会

2012年11月1日



# 2013/3期 上期業績概要



➤2Q減速で上期はほぼ前年同期並み、前回予想では減収減益

(億円)

	12/3期 (上期) 実績	13/3期 (上期) 実績	前年 同期比	13/3期 (上期) 前回予想	予想比	13/3期 (2Q) 実績	12/3期 (2Q) 実績
売上高	1,766	1,768	+0.1%	1,825	▲3.1%	868	887
営業利益 (営業利益率)	63 (3.6%)	68 (3.9%)	+8.1%	85	▲19.9%	26	32
経常利益 (経常利益率)	53 (3.0%)	61 (3.5%)	+14.5%	75	▲18.6%	23	26
当期利益 (当期利益率)	28 (1.6%)	33 (1.9%)	+18.9%	60	▲44.2%	7	23

## 為替レート

(円)

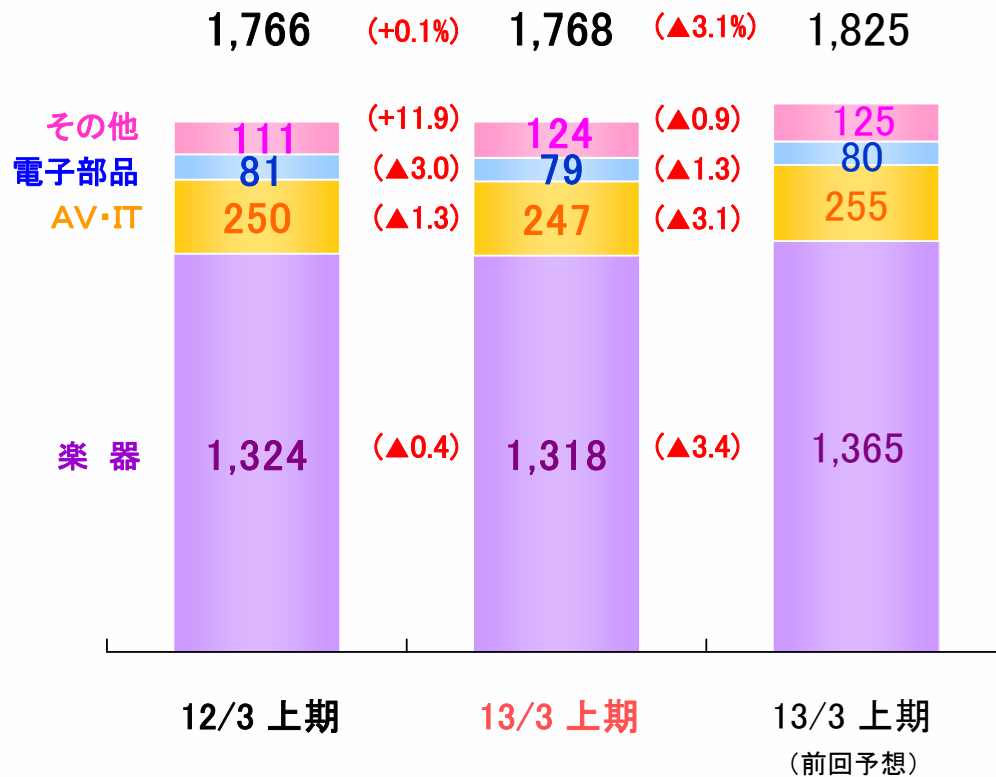
売上高	US\$	80	79	79	78
	EUR	114	101	101	110
利益	US\$	80	80	79	78
	EUR	115	105	103	117

\* 前回予想は2012/7/31発表

# 2013/3期 上期事業別業績

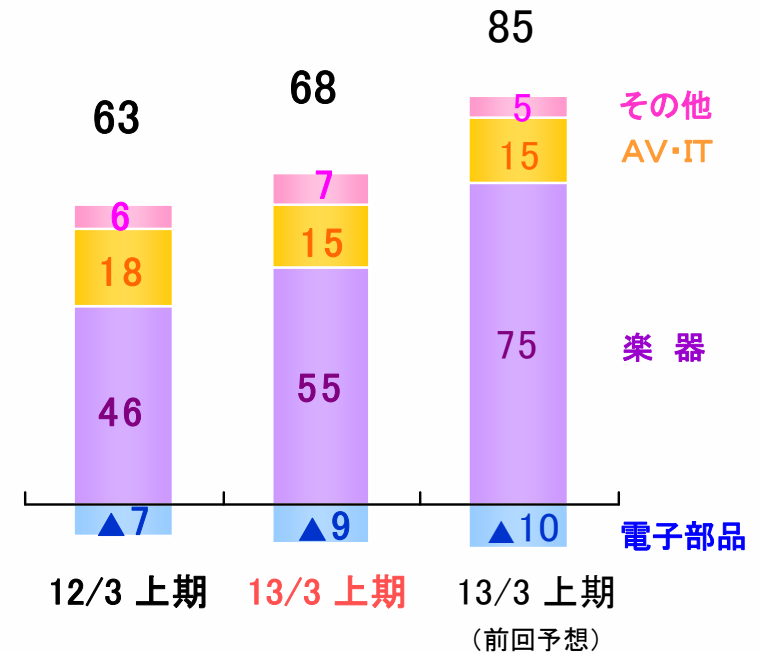


## 売上高



## 営業利益

(億円)



( )内は前年同期比  
または  
前回予想比

\* 前回予想は  
2012/7/31発表

	為替影響額
前年同期比較	▲51億円 (楽器 ▲41億円、AV・IT ▲10億円)
前回予想比較	▲1億円 (楽器 ▲1億円、AV・IT +1億円)

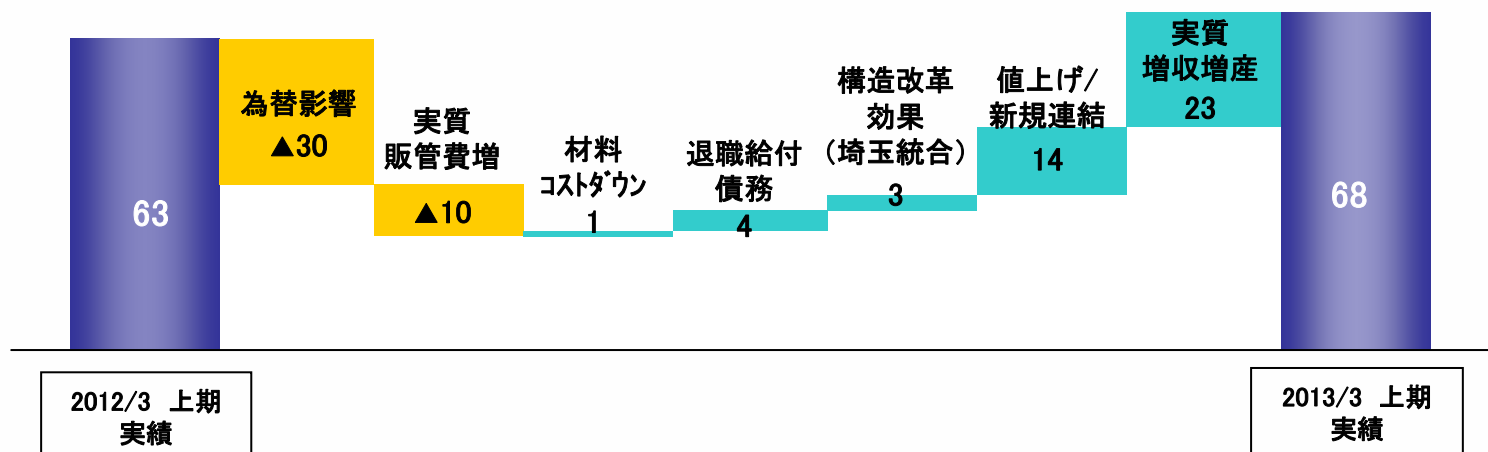
	為替影響額
前年同期比較	▲30億円 (楽器 ▲24億円、AV・IT ▲6億円)
前回予想比較	+1億円 (楽器 +1億円)

# 2013/3期 上期営業利益増減要因

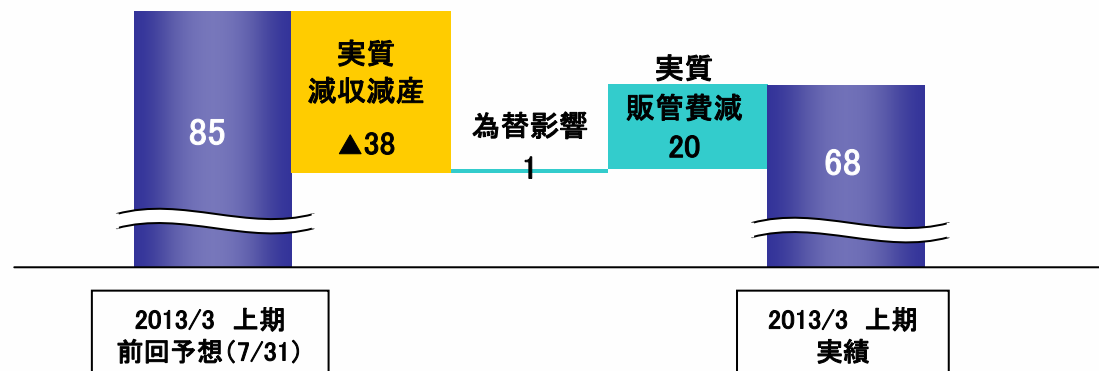


## 前年同期との比較

(億円)



## 前回予想との比較



## 下期の業績見通し

- 先進国市場の景気後退懸念
- 中国経済の成長率鈍化と反日感情の事業への影響注視
- 在庫削減に向け生産調整の実施
- ピアノ、電子楽器、PA機器等の新商品 需要期の販売に期待

## 通期の業績見込み

- 第2四半期で楽器の売り上げが予想を下回り、上期予想に対しても減収減益になったことと、今後の在庫適正化に向けて生産調整を実施することも想定し、売上高3,675億円、営業利益110億円、経常利益90億円、当期純利益35億円に各々修正

# 2013/3期 通期業績予想



▶ 通期業績は、売上高、各利益を下方修正

▶ 下期のUS\$、EUR為替レートは各々77円、100円を前提

(億円)

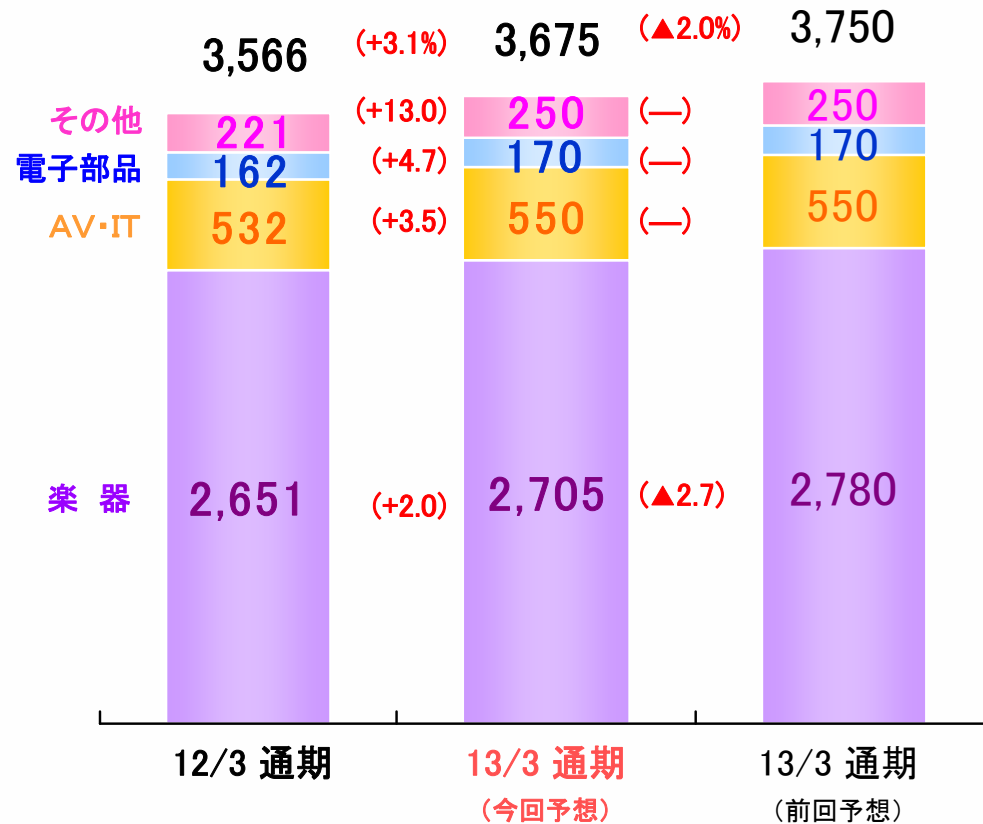
	12/3期 実績			13/3期 今回予想			伸び率	13/3期 前回予想 (7/31発表)
	上	下	計	上	下	計		
売上高	1,766	1,800	3,566	1,768	1,907	3,675	+3.1%	3,750
営業利益 (営業利益率)	63 (3.6%)	18 (1.0%)	81 (2.3%)	68 (3.9%)	42 (2.2%)	110 (3.0%)	+35.6%	145
経常利益 (経常利益率)	53 (3.0%)	20 (1.1%)	73 (2.0%)	61 (3.5%)	29 (1.5%)	90 (2.4%)	+24.1%	130
当期利益 (当期利益率)	28 (1.6%)	▲322 (—)	▲294 (—)	33 (1.9%)	2 (0.1%)	35 (1.0%)	—	75

為替レート	(円)							
売上高	US\$	80	78	79	79	77	78	78
	EUR	114	104	109	101	100	100	101
利益	US\$	80	78	79	80	77	78	78
	EUR	115	108	112	105	100	103	101

# 2013/3期 通期事業別業績予想

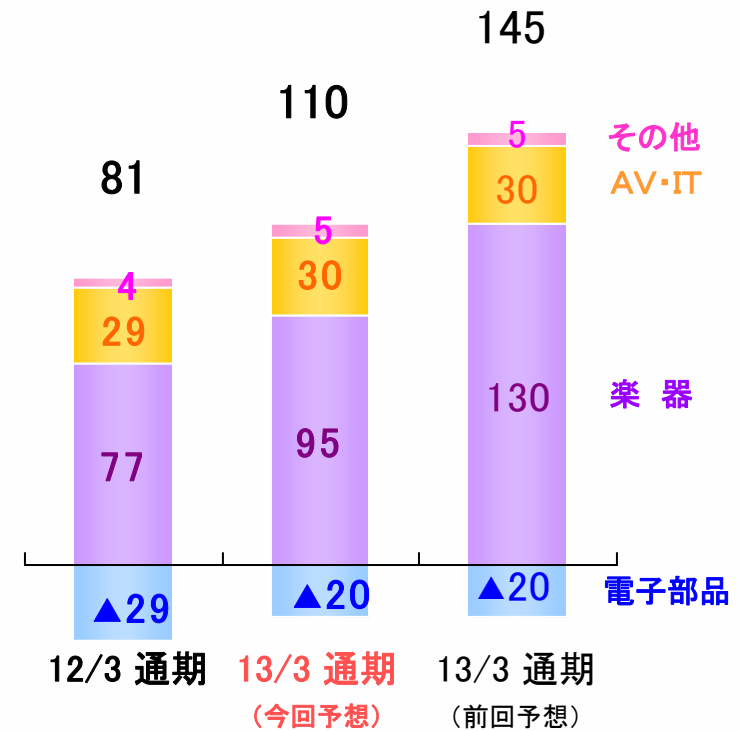


## 売上高



## 営業利益

(億円)



( )内は前期比  
または  
前回予想比

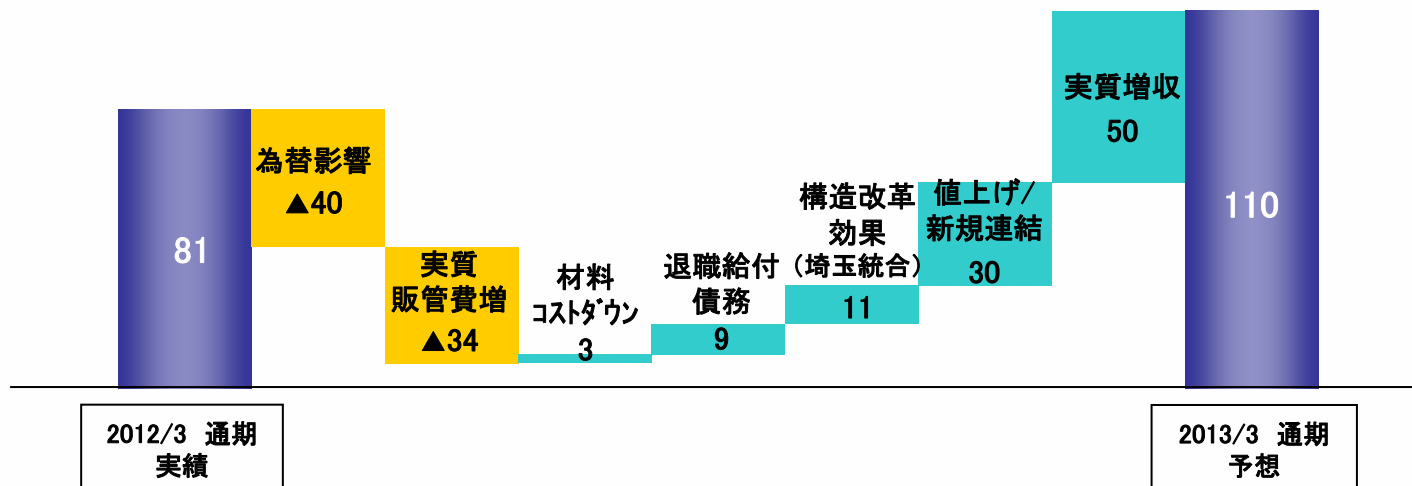
	為替影響額
前期比較	▲73億円 (楽器 ▲59億円、AV・IT ▲14億円)
前回予想比較	▲5億円 (楽器 ▲6億円、AV・IT +1億円)

	為替影響額
前期比較	▲40億円 (楽器 ▲31億円、AV・IT ▲10億円)
前回予想比較	+1億円 (AV・IT +1億円)

# 2013/3期 通期営業利益増減要因

## 前期との比較

(億円)



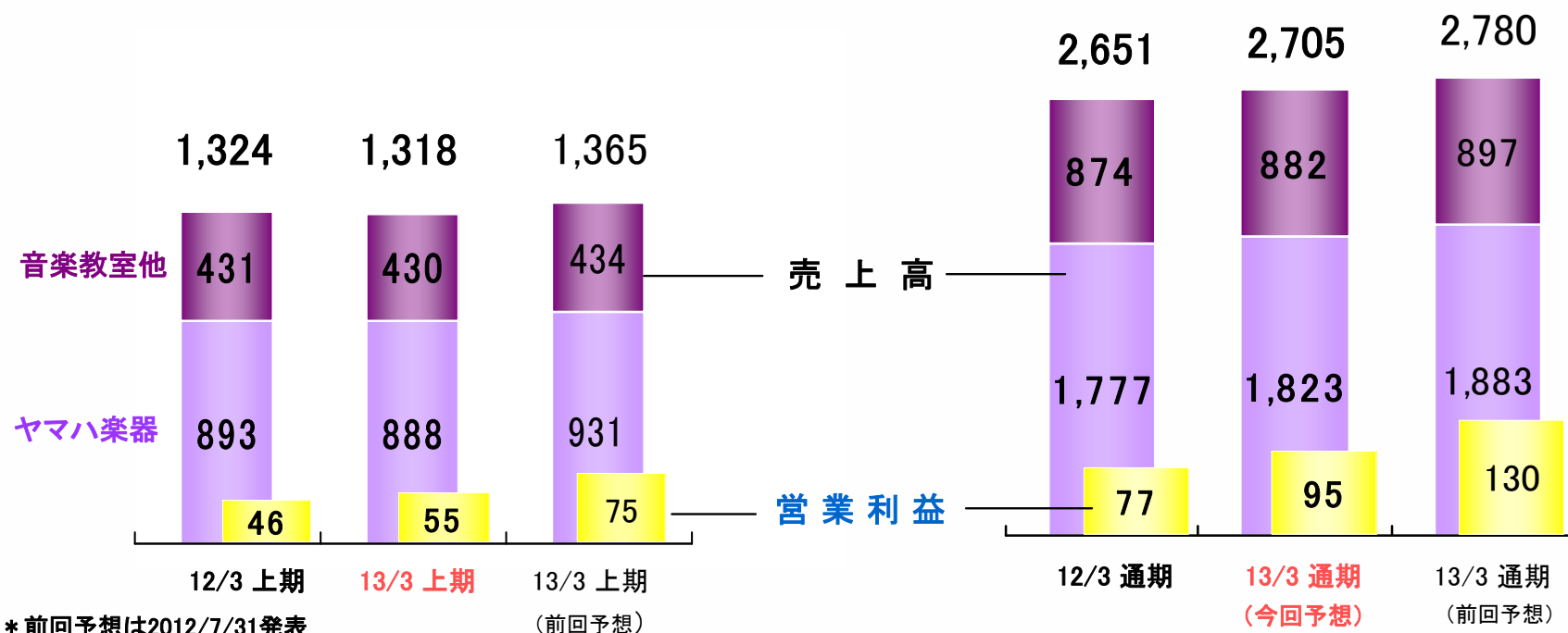
## 前回予想との比較





上期の状況	通期予想と下期の重点施策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対前年同期減収増益、対前回予想減収減益</li> <li>・為替影響を除いた実質売上高は、対前年同期2.6%(35億円)の増収。対前回予想では実質3.7%(46億円)の減収</li> <li>・1Qに比べ2Qは全ての市場で売上苦戦</li> <li>・対前年同期、PA機器が新商品効果で2Q好調、管楽器は2Q減速</li> <li>・営業利益は、対前年同期では増益、対前回予想では、減収及び生産調整の影響等で減益</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対前回予想で減収減益を予想</li> <li>・電子楽器を中心とした生産調整とセルアウト支援による在庫適正化</li> <li>・ピアノ、電子楽器、PA機器等の新商品の販売強化</li> <li>・国内営業部門の来期販社化に向けての準備</li> <li>・中国市場の成長維持に向け、販売網拡大と店頭展示の強化</li> </ul>

(億円)



\* 前回予想は2012/7/31発表

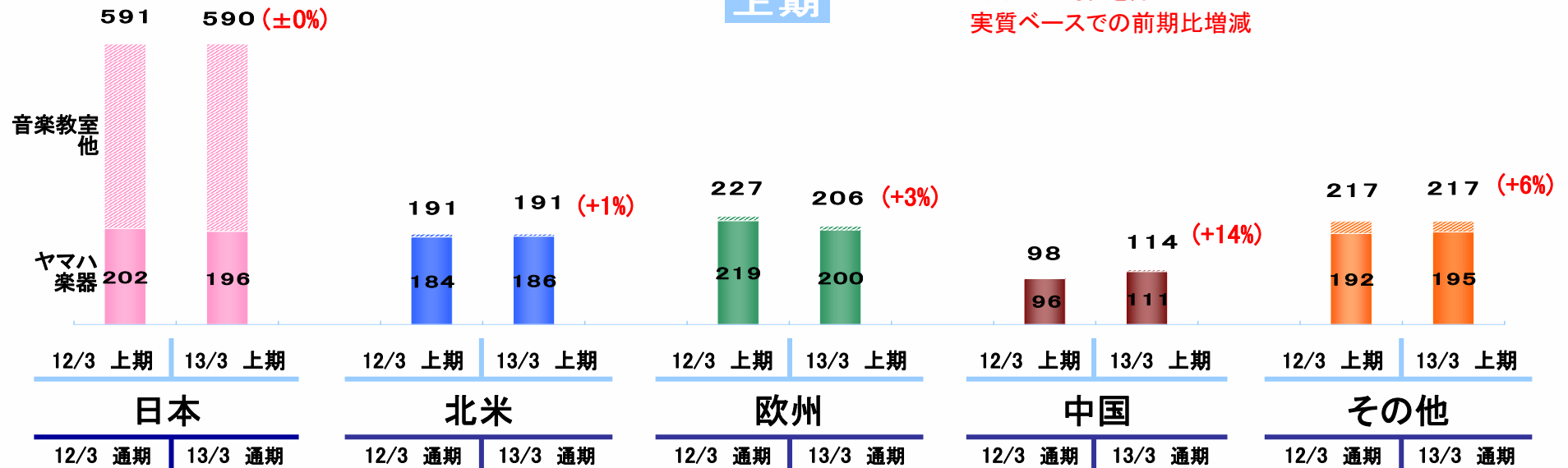
# 楽器事業(地域別の販売状況)



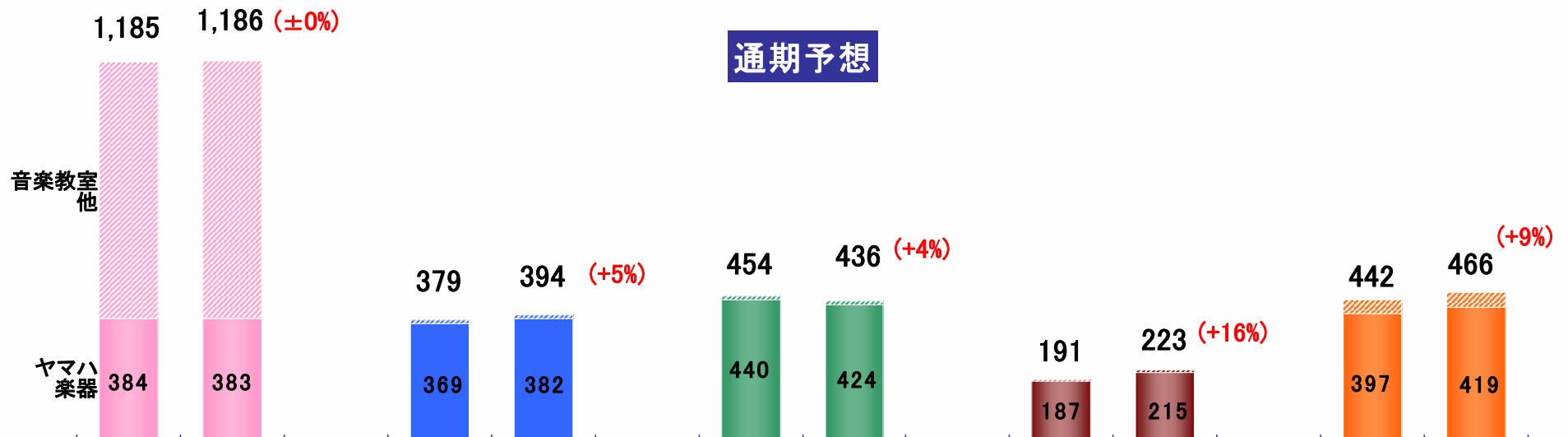
(億円)

\* ( )内は為替を除いた  
実質ベースでの前期比増減

## 上期



## 通期予想



# 楽器事業(地域別の販売状況)

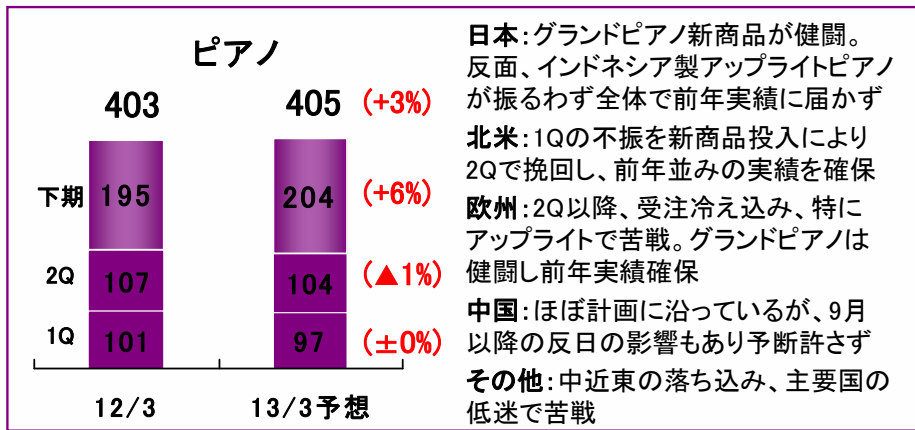


楽器地域別状況	
日本	主力のピアノ、電子楽器、管楽器が前年実績に届かず厳しい状況。特にアップライトピアノと電子ピアノが期待を下回る。音楽教室の生徒数減少も昨春以来継続している。
北米	アメリカ市場はEコマースが伸長で徐々に回復基調。楽器販売網においては専門店系が苦戦。1Qは電子ピアノ、ポータブルキーボードが伸長、管楽器も学校レンタル向け出荷堅調であったが2Qに入り減速。2Qは大型の新商品の投入で設備用音響機器が貢献、前年実績を上回り、ほぼ計画通りに推移。ピアノも2Qに入り好調で前年実績を上回る。北米全体の2Qは前年実績に届かない状況。
欧州	欧州市場を牽引する独でも小売が落ち始め、楽器店在庫が高止まりの状況。地域別では、独は前年を上回り、英も堅調だが、仏、伊、西、北欧が厳しい状況。商品別では、電子ピアノ、PA機器が健闘もピアノ、管楽器が前年並み。ドラム、シンセサイザーが苦戦。
中国	都市部での高額品販売が停滞するなど、小売市況拡大のテンポが緩やかになる中、販売網の地方都市への拡大と専門店の育成に取り組み、売り上げは伸長維持。専門店の育成においては、グランドピアノの展示拡充やギター専門店の開拓など高額品の販売可能性を広げることができた。しかしながら、消費の減速や反日の影響懸念もあり、今後の販売状況を注視する必要あり。
その他の地域	引き続き電子楽器が好調で全体を牽引。主要新興国ではロシア・インドが売り上げを拡大している。東南アジアではインドネシア、タイが二桁成長を維持。中南米はアルゼンチンの輸入規制他で苦戦し、パナマ販社は2Qに入りややスローダウンするも、ブラジル、メキシコは二桁の伸びを維持している。イラン経済制裁、シリア問題影響を受ける中東、楽器店再編中のオセアニアは苦戦継続。

# 楽器事業(商品群別の販売状況)

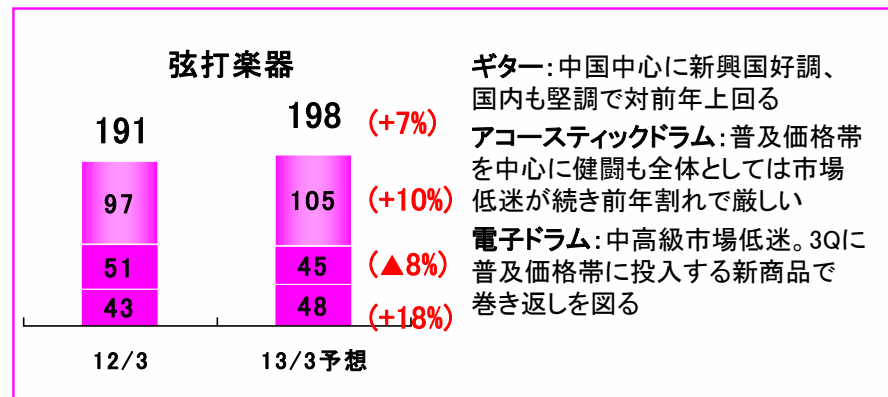
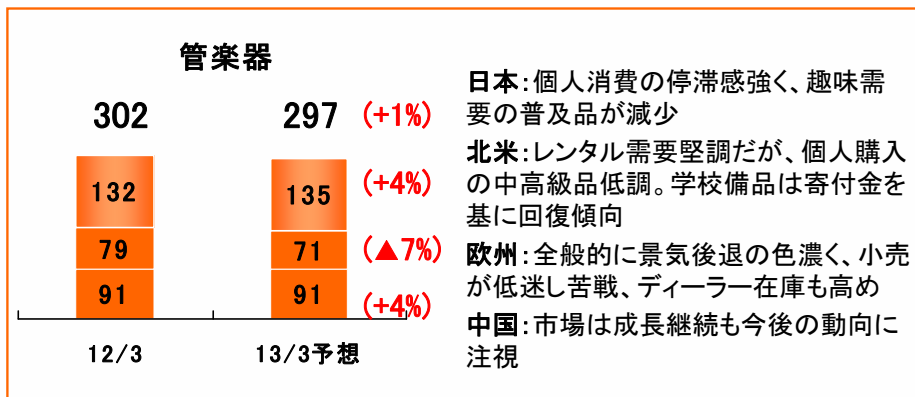
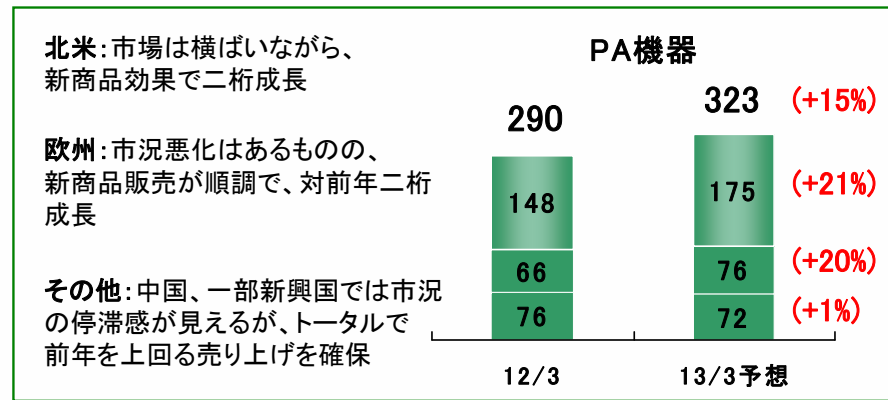
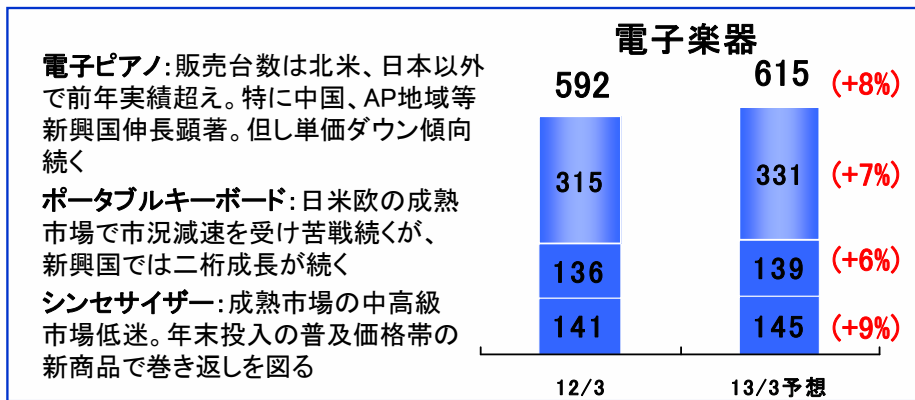


(億円)

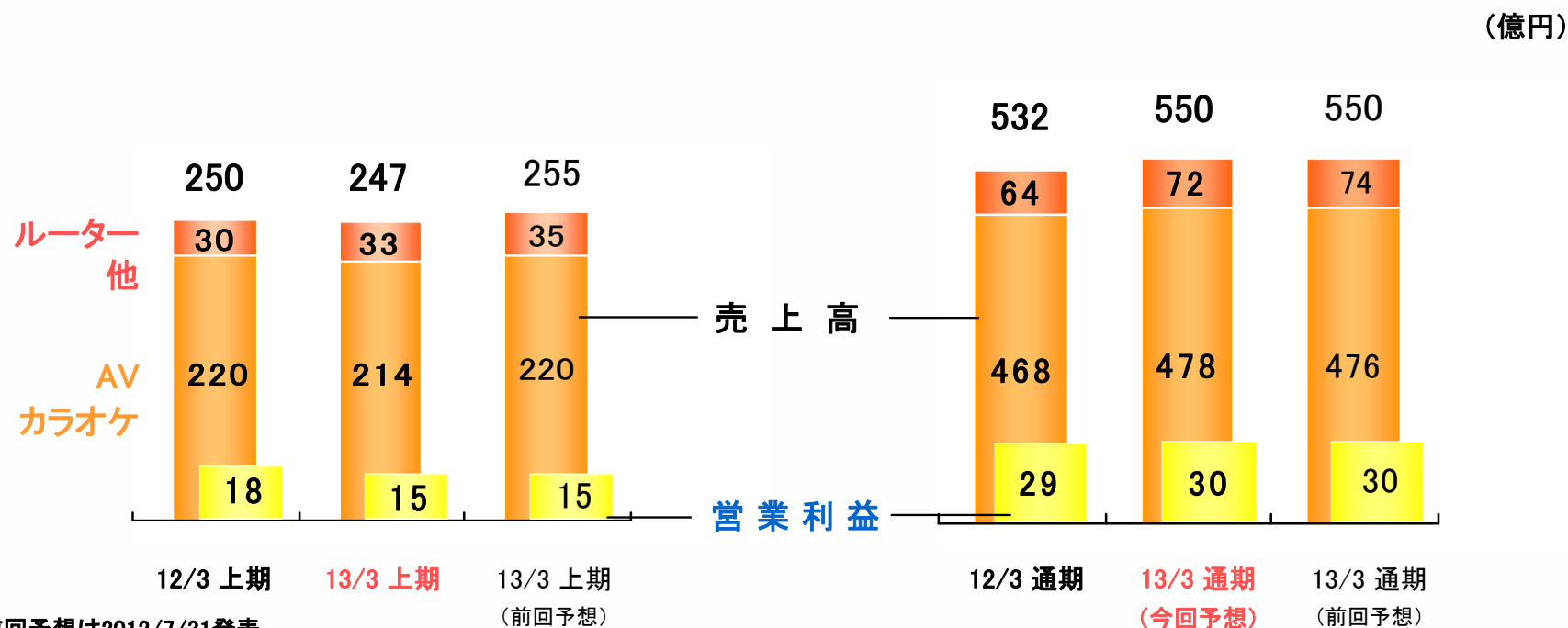


\*( )内は為替を除いた  
 実質ベースでの前期比増減

※エレクトーンを電子楽器に含めて表示しております。

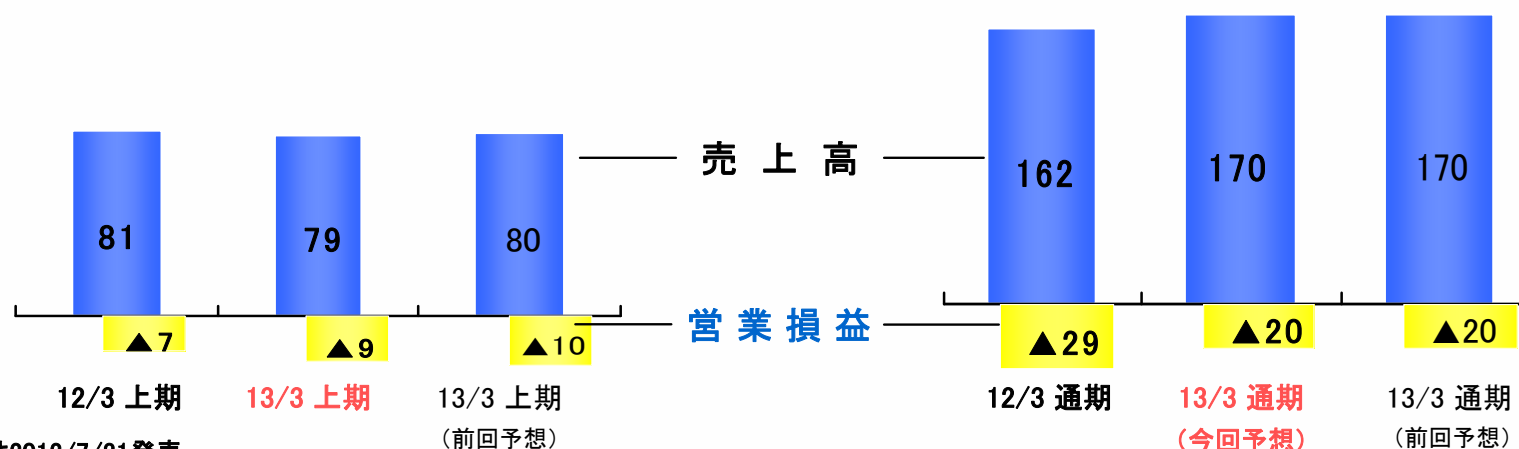


上期の状況	通期予想と下期の重点施策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対前年同期減収減益、対前回予想では減収</li> <li>・為替影響を除いた実質売上高は、対前年同期2.8%(7億円)の増収</li> <li>・通信カラオケ機器、ルーターは対前年同期増収、AV機器は1Q堅調も2Q北米、欧州市場減速で実質減収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通期は対前回予想通り</li> <li>・新商品導入で堅調に推移した米国市場の維持</li> <li>・サウンドバー商品の欧米市場での販売拡大</li> <li>・量販店の需要期販売拡大に注力</li> <li>・通信カラオケ機器新製品の安定供給</li> </ul>



上期の状況	通期予想と下期の重点施策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対前年同期では減収減益、対前回予想ではほぼ想定通り</li> <li>・アミューズメント画像、音源用が回復基調継続 車載、センサー等が前年実績を上回る状況</li> <li>・営業利益は、製造損益の悪化等で前年同期から減益も 前回予想から若干の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通期予想は前回予想通り</li> <li>・外部生産委託の着実な実施</li> <li>・拡大するスマートフォン市場への積極的アプローチ</li> <li>・アミューズメント、地磁気センサー等の商品開発スピード アップ</li> <li>・事業構造改革を通じた鹿児島セミコンダクタの生産性向上</li> </ul>

(億円)

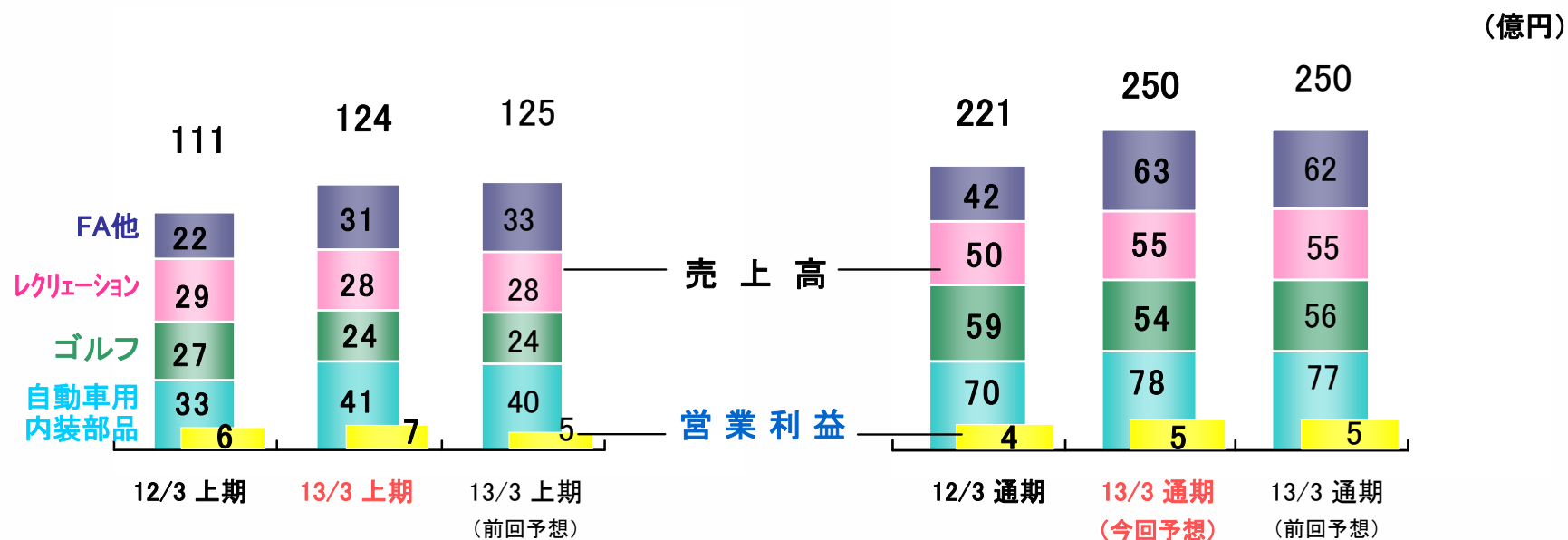


\* 前回予想は2012/7/31発表

# その他の事業



上期の状況	通期予想と下期の重点施策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対前年同期増収 対前回予想通り</li> <li>・自動車用内装部品は堅調に推移</li> <li>・ゴルフは海外市場振るわず減収</li> <li>・営業利益は自動車用内装部品、FA等により対前年同期増益</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通期は前回予想通り</li> <li>・自動車用内装部品は新モデル向け供給開始</li> <li>・FAは中国市場向けに不透明感</li> <li>・レクリエーションは、オフシーズン対策の成果最大化</li> <li>・ゴルフ新商品の投入による巻き返し</li> </ul>



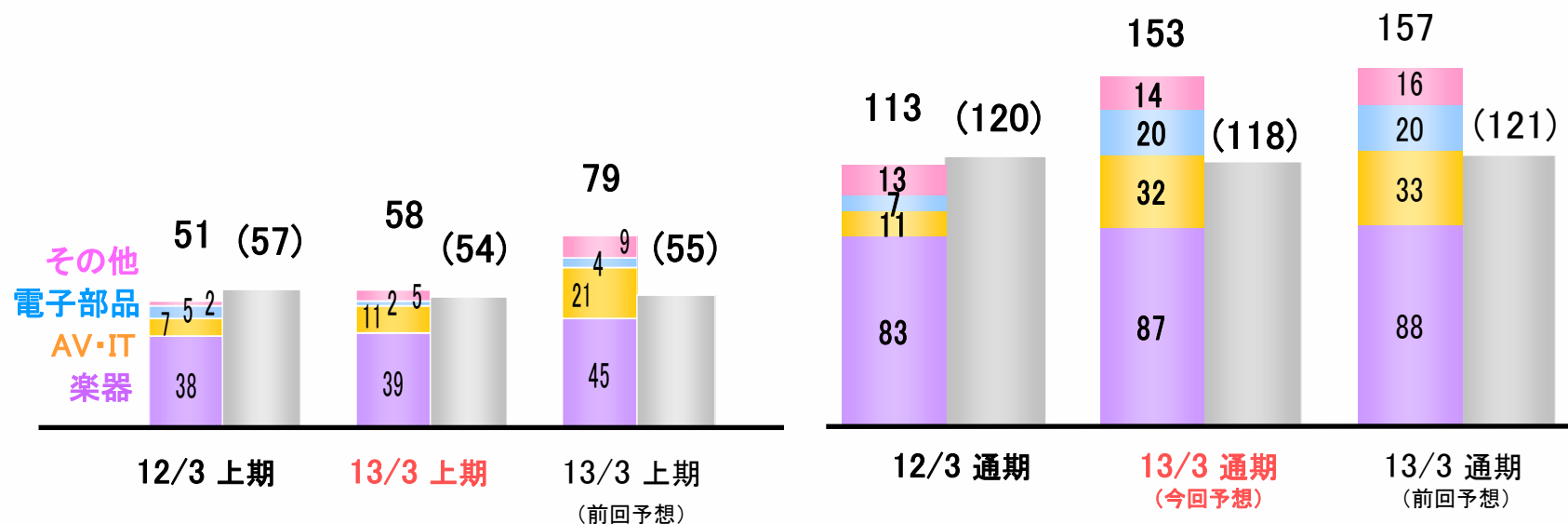
\* 前回予想は2012/7/31発表

# 設備投資額・減価償却費/研究開発費

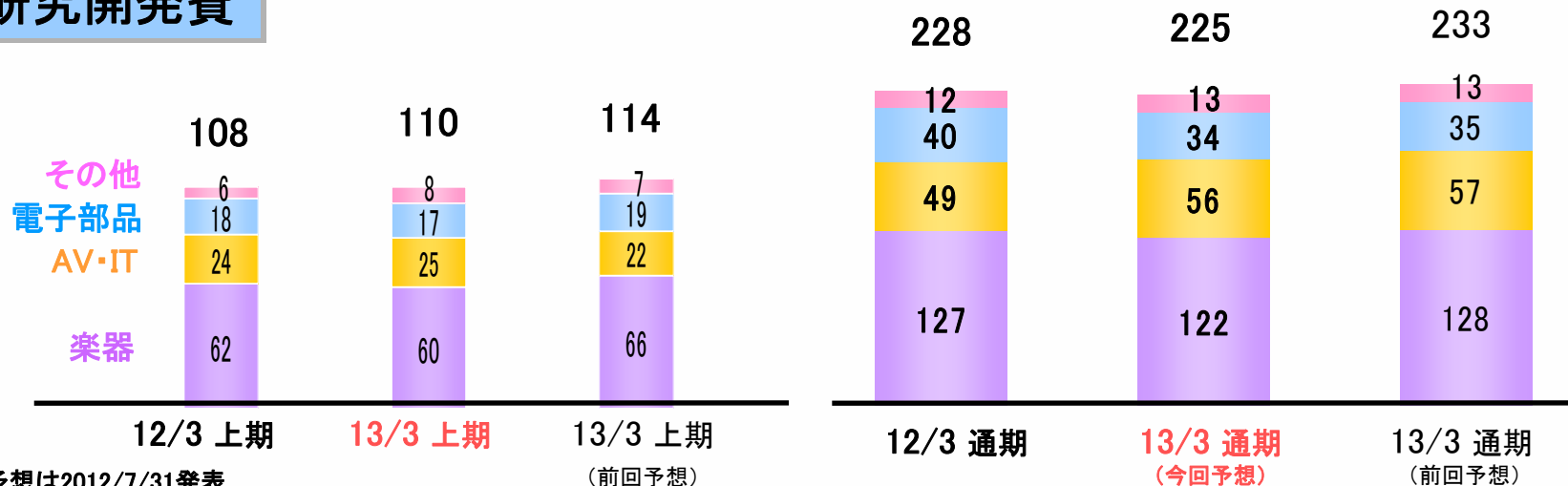


## 設備投資額(減価償却費)

(億円)



## 研究開発費

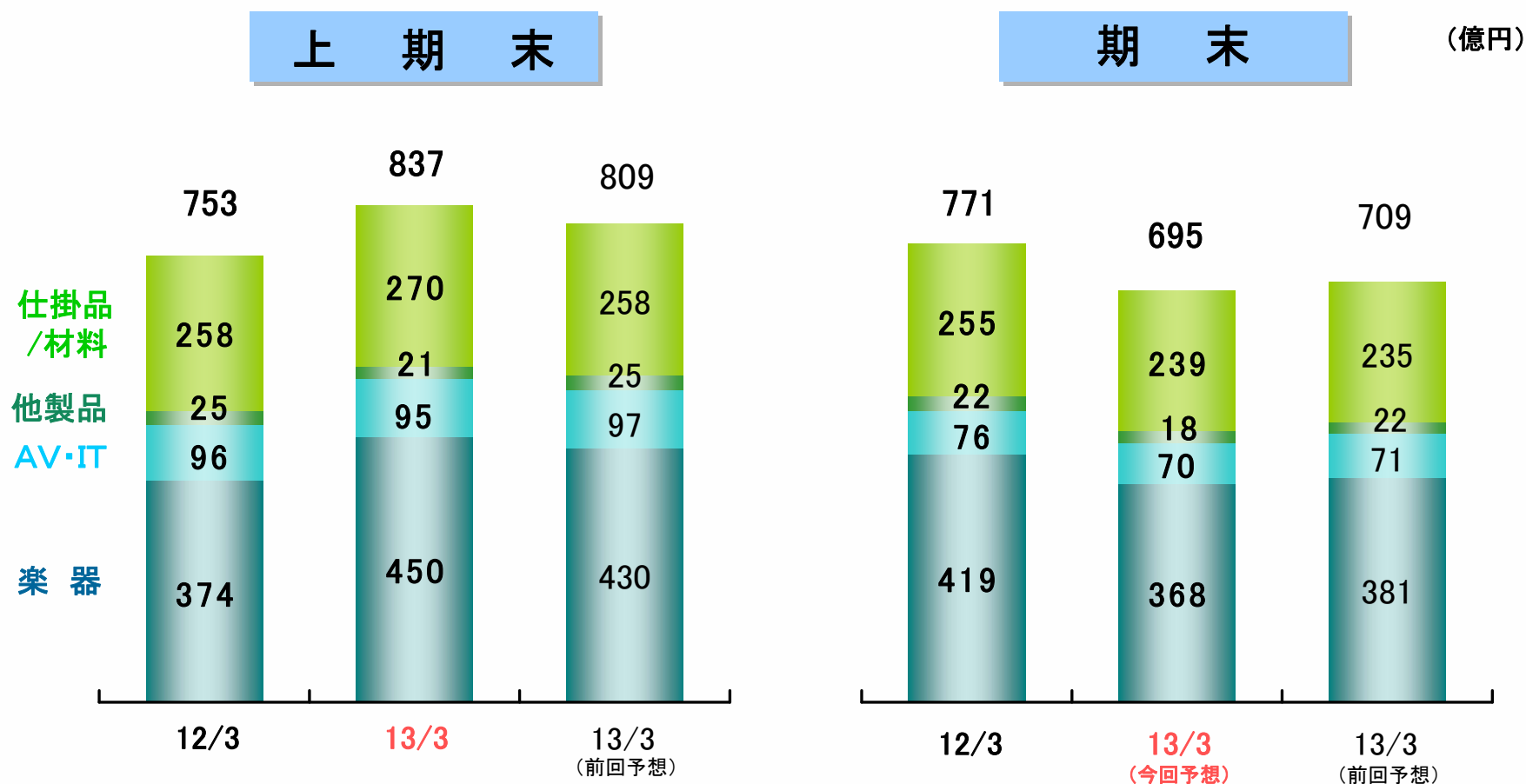


\* 前回予想は2012/7/31発表



# 棚卸資産

➤ 上期末総在庫は対前年同期84億円の増加  
 (為替影響+3億円を除けば実質81億円の増加)



\* 前回予想は2012/7/31発表

# 貸借対照表

(億円)

	上期末			期末予想		
	11/9末	12/9末	増減	12/3末	13/3末	増減
現預金	556	500	▲56	566	503	▲63
売上債権	459	488	29	445	468	23
棚卸資産	753	837	84	771	695	▲76
他流動資産	166	96	▲70	108	91	▲17
固定資産	1,825	1,567	▲258	1,776	1,593	▲183
<b>資産計</b>	<b>3,759</b>	<b>3,488</b>	<b>▲271</b>	<b>3,666</b>	<b>3,350</b>	<b>▲316</b>
仕入債務	223	217	▲6	223	205	▲18
借入金	183	182	▲1	113	65	▲48
リゾート預託金	157	154	▲3	155	154	▲1
他負債	927	1,035	108	1,107	1,038	▲69
純資産計	2,268	1,900	▲368	2,068	1,888	▲180
<b>負債純資産計</b>	<b>3,759</b>	<b>3,488</b>	<b>▲271</b>	<b>3,666</b>	<b>3,350</b>	<b>▲316</b>

※現預金残高には譲渡性預金を含む

# 付属資料

# 2013/3期 2Q業績



➤2Qは、対前年同期、対前回予想共に減収減益

(億円)

	12/3期 (2Q) 実績	13/3期 (2Q) 実績	前年同期比	13/3期(2Q) 前回予想 (7/31発表)	前回予想比
売上高	887	868	▲2.1%	925	▲6.2%
営業利益	32	26	▲19.9%	42	▲39.0%
経常利益	26	23	▲9.8%	37	▲37.4%
当期利益	23	7	▲69.0%	34	▲78.9%

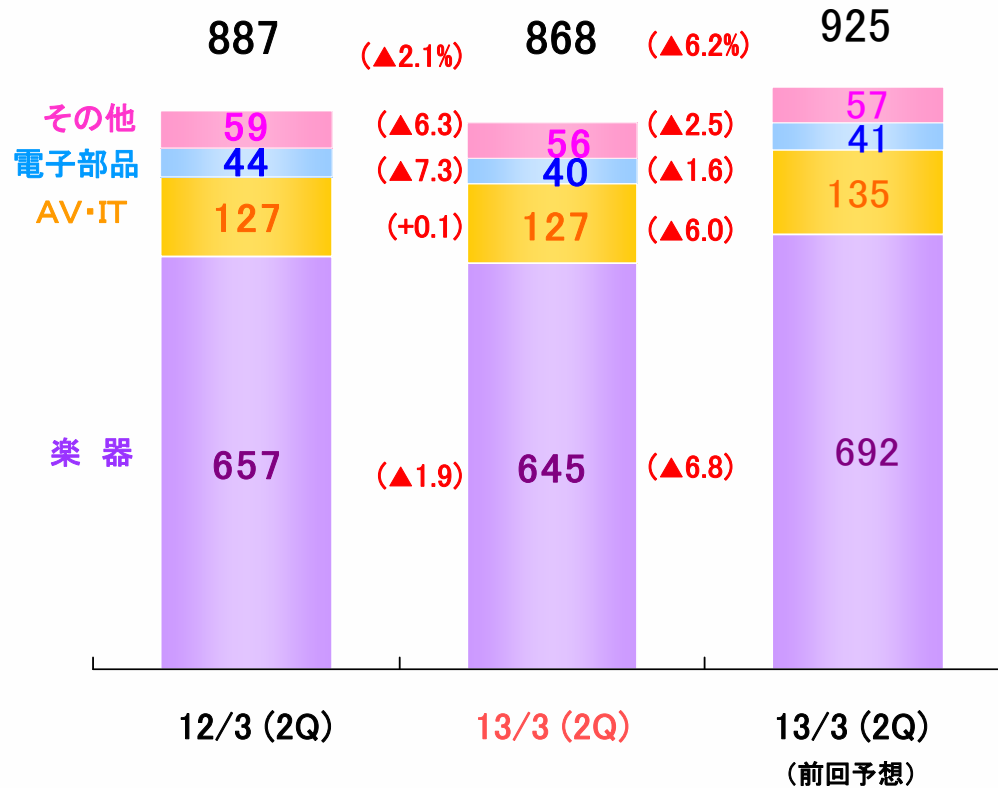
為替レート (円)

売上高	US\$	78	79	77
	EUR	110	98	100
利益	US\$	78	79	77
	EUR	117	103	100

# 2013/3期 2Q事業別業績

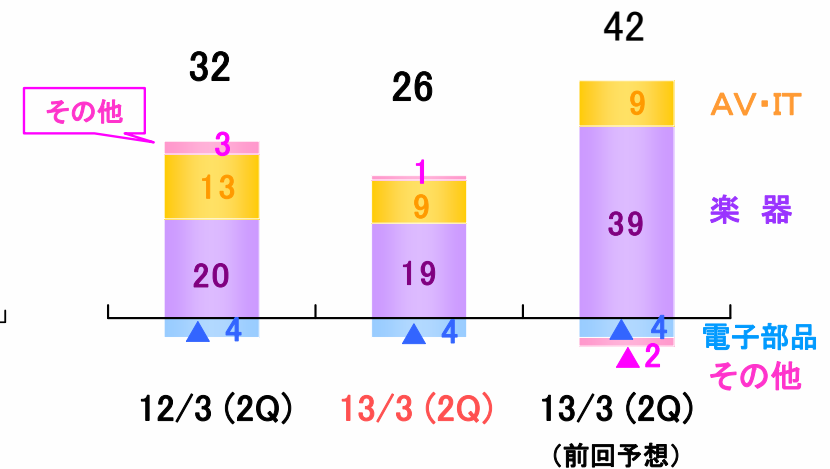


## 売上高



## 営業利益

(億円)



( )内は前年同季比  
または  
前回予想比

\* 前回予想は  
2012/7/31発表

	為替影響額
前年同期比較	▲20億円 (楽器 ▲16億円、AV・IT ▲4億円)
前回予想比較	▲1億円 (楽器 ▲1億円、AV・IT +1億円、)

	為替影響額
前年同期比較	▲20億円 (楽器 ▲15億円、AV・IT ▲5億円)
前回予想比較	+1億円 (楽器 +1億円)

# 2013/3期 上期営業外損益、特別損益



	12/3 (上期)実績	13/3 (上期)実績	13/3 (上期)前回予想
(億円)			
<b>営業外損益</b>			
金融収支	4	5	4
その他	▲14	▲12	▲14
計	▲10	▲7	▲10
<b>特別損益</b>			
固定資産処分損益	0	3	2
その他	▲3	▲10	▲2
計	▲3	▲7	0
<b>法人税他</b>			
法人税等	19	21	15
法人税等調整額	1	▲2	▲2
少数株主利益	2	2	2
計	22	21	15

構造改革費用 ▲10

\* 前回予想は2012/7/31発表

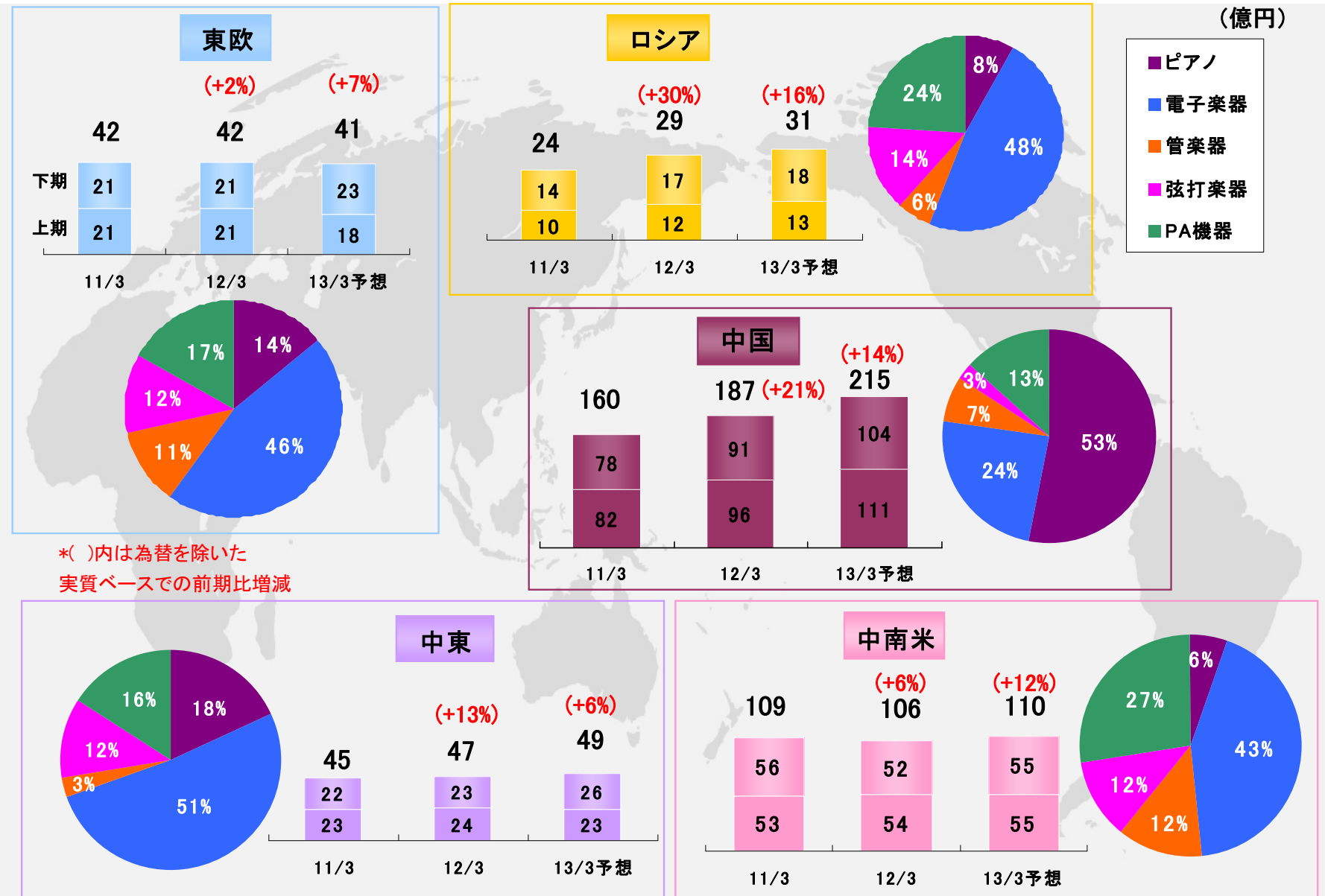
# 2013/3期 通期営業外損益、特別損益



	12/3 実績	13/3 今回予想	13/3 前回予想
(億円)			
<b>営業外損益</b>			
金融収支	13	8	8
その他	▲21	▲28	▲23
計	▲8	▲20	▲15
<b>特別損益</b>			
固定資産処分損益	▲1	3	2
その他	▲2	▲18	▲22
計	▲3	▲15	▲20
<b>法人税他</b>			
法人税等	40	37	32
法人税等調整額	321	1	▲1
少数株主利益	3	2	4
計	364	40	35

構造改革費用 ▲18

# 楽器事業(新興国市場の販売状況)





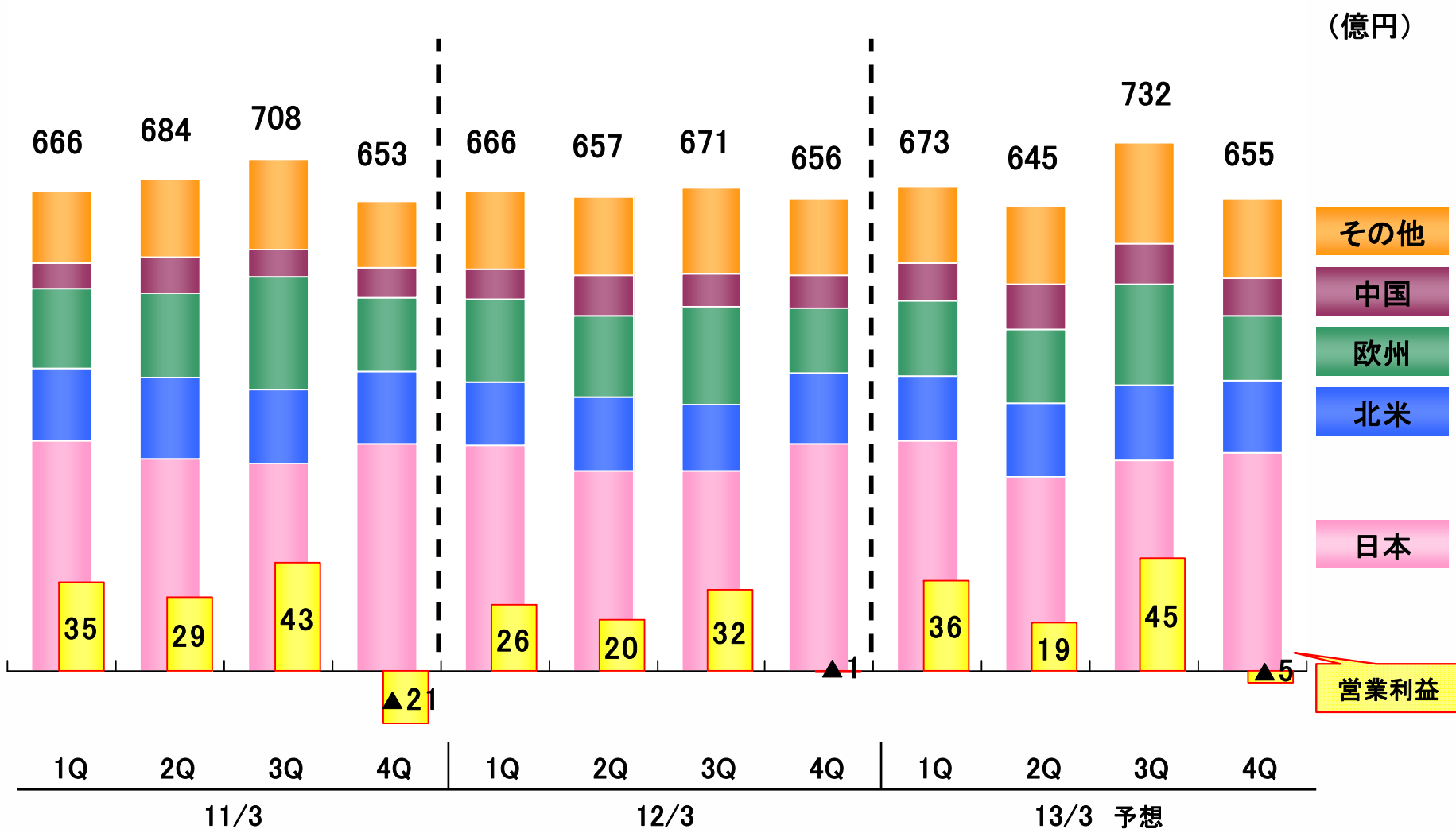
# 楽器四半期別売上高／営業利益



売上高 2,711億円  
営業利益 86億円

売上高 2,651億円  
営業利益 77億円

売上高 2,705億円  
営業利益 95億円



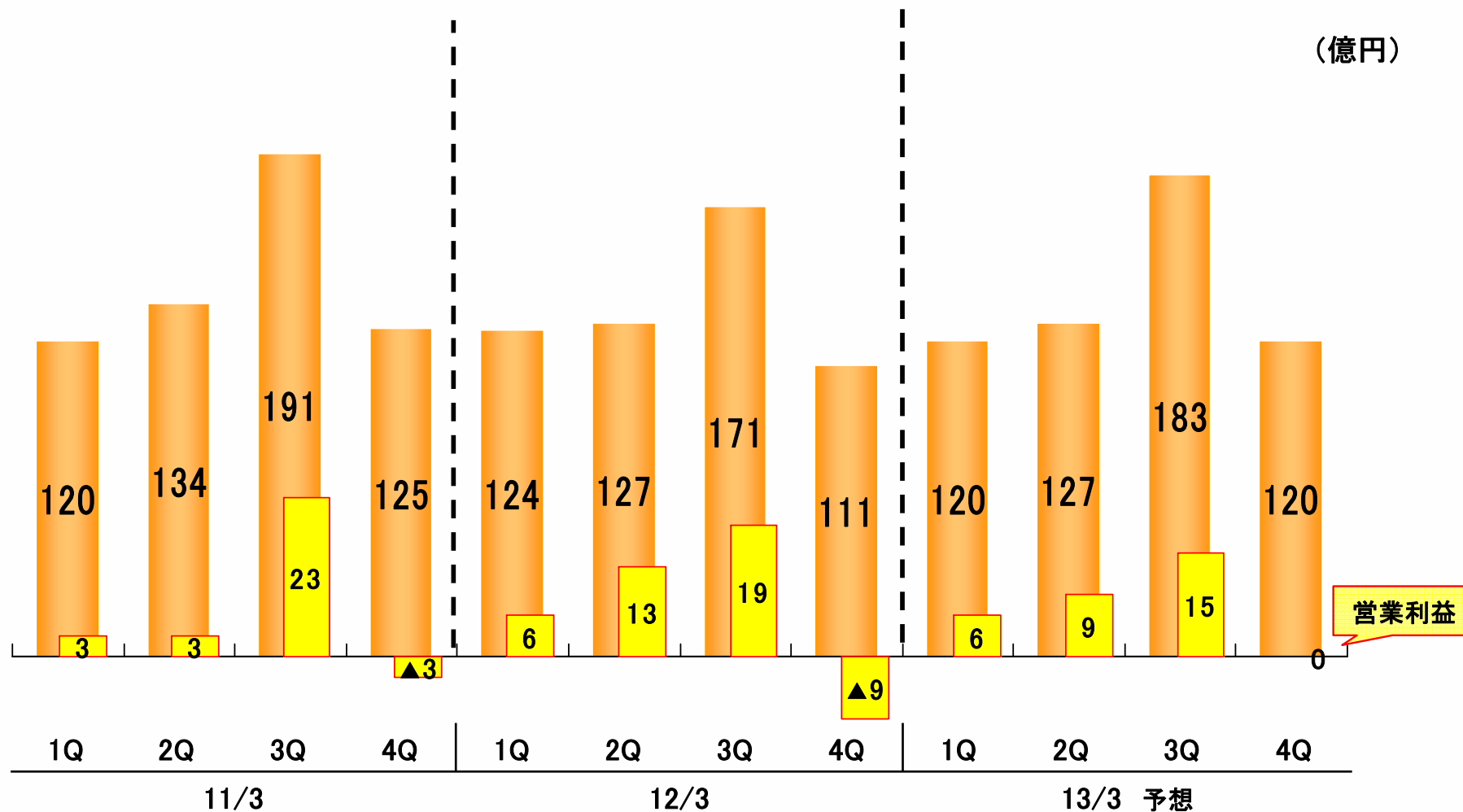
# AV・IT四半期別売上高／営業利益



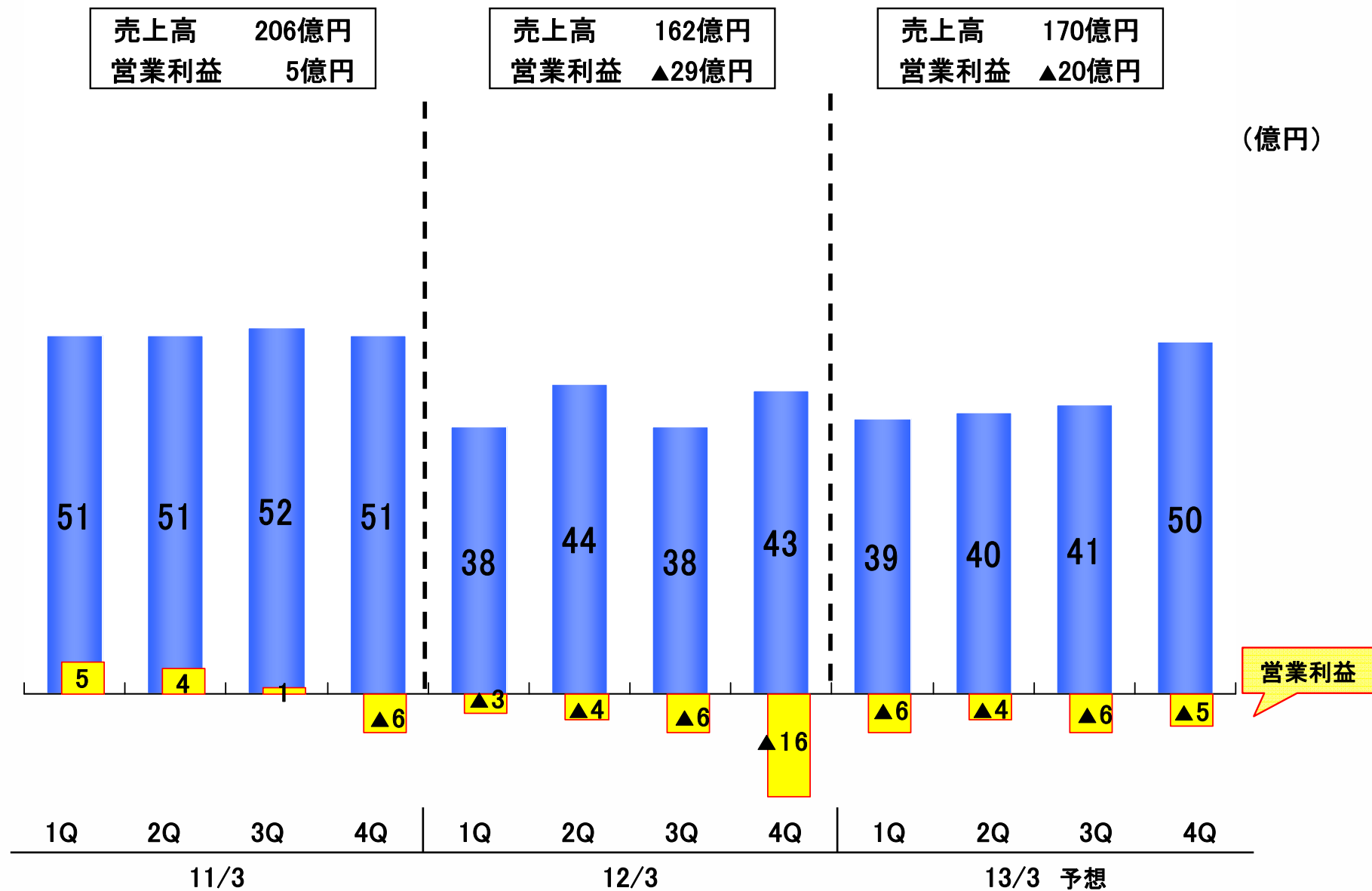
売上高 570億円  
営業利益 25億円

売上高 532億円  
営業利益 29億円

売上高 550億円  
営業利益 30億円



# 電子部品四半期別売上高／営業利益



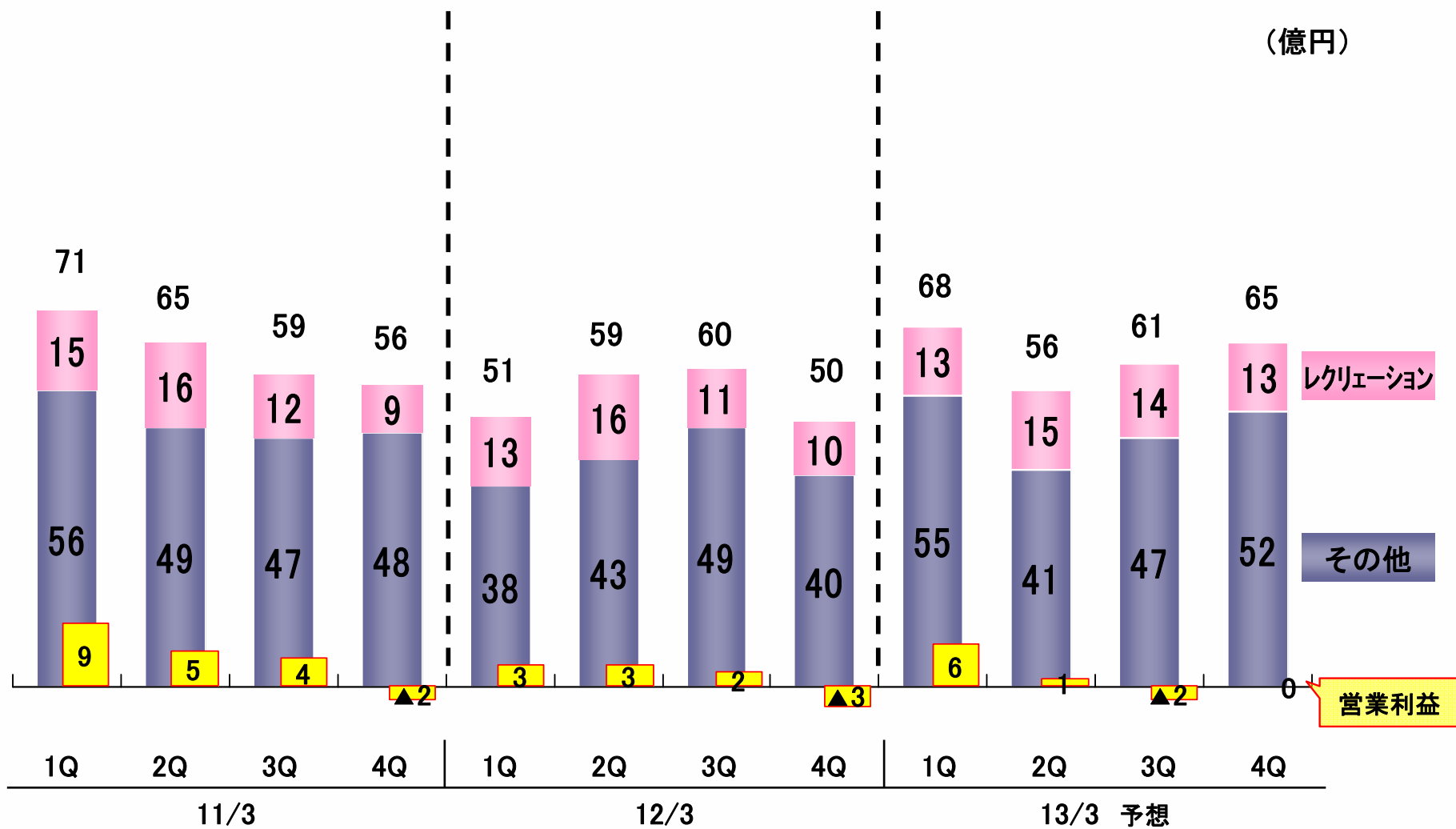
# その他四半期別売上高／営業利益



売上高 251億円  
営業利益 15億円

売上高 221億円  
営業利益 4億円

売上高 250億円  
営業利益 5億円



この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。

